



No.3231

第3548回例会
平成29年10月18日

OBIHIRO ROTARY CLUB

DISTRICT 2500

方針 ばんりいっくう
万里一空『Let's go』

会長 國枝千秋

2017-18年度国際ロータリーのテーマ

ロータリー：変化をもたらす

10月4日例会 会員総数90名(内免除会員4名)

出席
報告

出席者数 59名

欠席者21名

0

メークアップ 10名

90(名)

■会長報告



國枝 千秋 会長

10月のロータリーのテーマは『経済と地域社会の発展月間』です。又、日本のロータリークラブはこれと共に『米山月間』と定めています。これは9月の『ロータリーの友月間』と並び日本のロータリークラブが独自に決めた月間テーマです。

皆さんご存知のように、『ロータリー米山記念奨学会』とは1952年11月に東京ロータリークラブが構想を立ち上げ始めた『米山基金』が5年後には日本の全ロータリークラブの共同事業となり、1967年7月に財団法人化され、今年の7月に50周年を迎えたが、この間19,808人の外国人留学生に奨学金を支給した民間最大の奨学事業となっています。

当クラブでも先月末まで合田会員がカウンセラーであったティアナさんや、現在猿川会員がカウンセラーの斎くんのお世話をしております。

彼らの生活を支えているのが米山奨学金で、奨学資金は全国のロータリアンの援助により支えられております。

当クラブの米山委員長から皆様にお志のお願いが届いていると思いますが、改めて私からも皆様にお願い申しあげます。

以上会長報告とさせていただきます。ありがとうございます。

■プログラム

「介護士不足の現状とベトナム人介護福祉養成・教育について」
長谷川 賢 会員



私たち介護業界の専門職、特に介護(福祉)士の慢性的な不足は、皆様の業界と同様に困難を極めているところです。介護職員の仕事は、移動、食事、排泄、入浴介助など多数に渡ります。しかし、シーツ交換、体位変換、配膳下膳、口腔ケア、カンファレンス、介護記録記載、研修会受講などなど、目に見えない重要な仕事も多様に存在します。

これら担い手を充足させるために、日本人の介護職員の募集と同時に、EPAを利用して日本で介護を学びたいアジアの若者を採用してみようと考えた次第です。

EPAは、日本が技術先進国として相手国の経済活動を発展あるいは活性化するために結ばれた協定。上手に活用することで現況改善と同時に来るべきアジアの高齢化(医療や看護も含む)に寄与することができると捉えることが

できます。実はこのお話は、数年前にもあり乗り出そうと思いつきや十勝では一社のみの採用。せっかくの機会を逸したことがありました。昨年、帯広RCメンバーでもある帯広コア専門学校神山理事長からご縁をいただき積極的に乗り出した次第です。

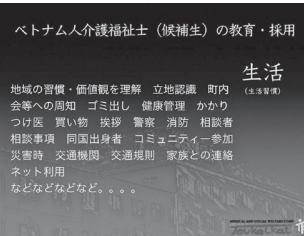
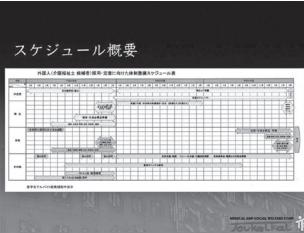
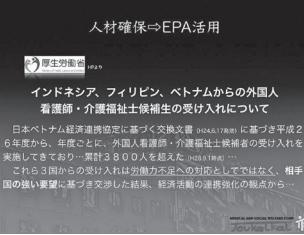
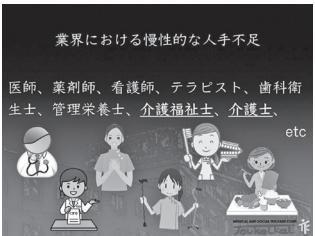
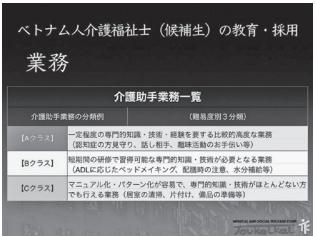
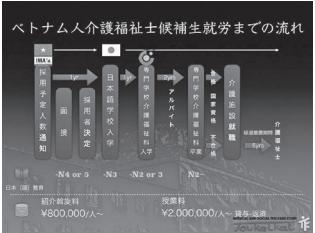
彼らの就業までのプロセスは、1年間の自国での日本語学習、文化や習慣、仕事へ向かう態度など様々に学び、日本語の試験を経て日本にやって来ます。その後、日本の日本語学校で1年間アルバイトをしながら学び、日本語検定(以後、N) N3以上になったところで採用した法人が指定する介護福祉科を持つ専門学校で2年間学びます。月24時間のアルバイトをしながら授業を受け卒業を目指し、試験合格となれば法人で採用。不合格でも4年間介護に携わっていれば職名を名乗ることができます(措置期間)。図に示すとおりです。

業務内容は、技術の取得レベルで細かく決められています。介護補助員としての後方支援からスキルアップして介護専門業務へとレベリングも上がるよう都度確認や面接、研修を準備しています。重要な生活面は、一期生が日本の環境に慣れるまでは法人と紹介会社で管理監督をしようとっています。とにかくゴミの分別すら理解不可能。目が離せないところです。

現在、7名の採用予定者が富山県の日本語学校で学んでいます。先日、人事担当が直接面接しましたが日本語レベルは向上中。一部に難ありと想定内の報告も受けました。月給2~3万円の国の子供たちが、300万円近い借金を知人友人そして家族からしてもらい、命がけで日本へやってくるのだというバックボーンに期待したいところです。そのためには我々も命がけで教育しなければなりません。

もしかすると彼らの状況は、今の私たち甘やかされている世代にとっては非常に貴重な機会であるとも考えています。「命がけで働く意義」。彼らから学ぶこと多々あるとワクワクしています。

とにかくこのプロジェクトを試行錯誤を繰り返して、他法人さんかあの協力体制も築きながら成功させたいと全法人職員で取り組んでいます。日本式介護はアジアの高齢者ケアの基礎となることは言うまでもありません。全国会でも避けては通れない事項としてEPAの活用に動き出しています。同時に「KAIGOの輸出を目指す」とも言われ4年。近い将来、刀圭会から「KAIGOの輸出」ができればと考えています。



②帯広南RC、10月23日(月)の例会は、休会と致します。

③帯広東RC、夜間移動例会開催のご案内

日 時 10月24日(火)午後6時30分

場 所 幕別パークホテル悠湯館

④帯広西RC、夜間例会開催のご案内

日 時 10月26日(木)午後6時30分

場 所 北海道ホテル

⑤帯広東RC、10月31日(火)の例会は、休会と致します。

⑥帯広RAC、10月例会のご案内

日 時 10月29日(日)午前8時30分より

場 所 森の交流館・十勝

例会内容 ハロウィーンパーティーに参加しよう

※例会内容の詳細は、青少年育成委員長まで。

■委員会報告

・帯広ローターアクトクラブ「10月第2例会」

青少年育成委員会

10月29日 午前8時30分 森の交流館・十勝

「ハロウィンパーティーに参加しよう」

親睦活動委員会

・ニコニコ献金

進藤 敦史 会員

本日の例会を担当させていただきます。

・お誕生日祝い

渡辺喜代美 会員

・配偶者様お誕生日祝い

増田 正二 会員

・ご結婚記念日祝い

石川 裕也 会員

出席委員会

・出席報告

10/18例会の報告 会員総数90名 内免除会員4名 出席者数59名

10/4例会の報告

メークアップを含む出席者数69名 出席率78.4%

■ロータリー情報・記録保存委員会 合田 倫佳 委員長



米山奨学生の話が会長報告の中でありましたが、ロータリーの友10月号を見ますと米山記念奨学会に関するデータが記載されています。

本年50周年を迎えた奨学会ですが、各地区の奨学生は各地区的寄付金に応じて人数が決まります。

2016-17年度のデータでは、当2500地区では寄付金1,387万円で1人当たり6022円、奨学生は9名です。

奨学生最多の地区は2650地区で、奨学生は52名います。寄付額は1億4,438万円、一人当たり22,459円の寄付でした。

なお、福井、京都、奈良、滋賀の地区で構成される2650地区は97クラブ4,600余名の会員数があり、当地区的約2倍(67クラブ、2,305名)です。2017-18年度のガバナーは帯広RCと友好クラブである京都東RCから選出された田中誠二会員です。

■会務報告

小白 智志 幹事

①帯広北RC、移動例会開催のご案内

日 時 10月20日(金)午後0時

場 所 北の杜(帯広の森内)



↑携帯サイトができました。
バーコードリーダーで読み込む事ができます。

例会日 / 水曜日 12:30 ~ 13:30

●創立 / 昭和10年3月15日

●事務局 / 帯広市西3条南9丁目 経済センタービル4F

●発行 / クラブ広報

●委員長 / 河村 知明・副委員長 / 中森 保・新田 潔

委員 / 高原 淳・工藤 大輔・石神 美代・倉野 賢・仁木 宏一

●ホームページアドレス / <http://www.obihiro-rc.jp>

■次週プログラム予定

10月25日(水)

「地域を繋ぐ大人カレッジ～認知症予防オレンジカフェ／脳の健康／生活窓口～街づくりを牽引する介護の力」
医療法人社団慈弘会ハートサウンズもりクリニック 理事長 森 光弘 会員

例会会場 / ホテル日航ノースランド帯広 TEL0155-24-1234

●認証番号 / 3820 ●戦後再開 / 昭和25年12月19日

TEL0155-25-7347 FAX0155-28-6033